

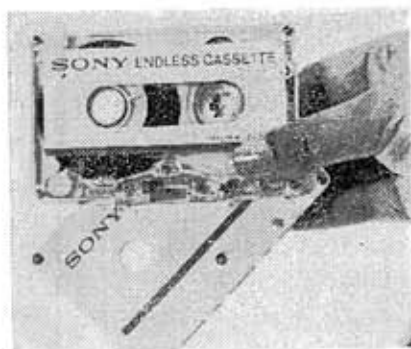
# NEW MERCHANDISE

## 新製品紹介

### ソニーの新製品2種

#### ○エンドレス・カセットテープ

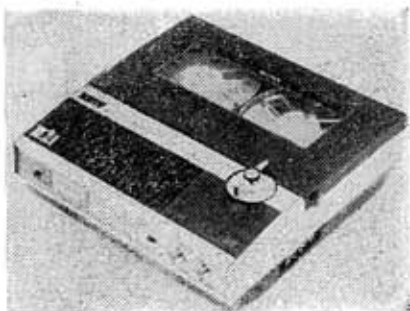
録音された会話や音楽などをカセット式テープレコーダーで連続して繰返し再生することのできるもので、1回ごとに巻戻しすることなく、反復再生できる。これは同社が開発した補助ドライブ機構という独特のアイデアによって早送りもできる。このテープの完成によって、アナウンス・マシン、語学練習、CM、留守番電話の応答や店頭説明、さらにBGなどカセット式テープレコーダーの応用範囲は一段と拡大されることになる。なお、テープは用途によって使い分けられるよう最大20分まで任意の長さにすることができる。本テープはどんなタイプのカセット式テープレコーダーでも使うことができるし、必要な箇所を早く取り出せるよう早送りができる。なお、誤って巻戻したり、録音済テープを消去したりすることのないような防護装置もついている。ケースの大きさは100.4×63.8×12mm、テープ幅3.81mm、演奏時間は1トラック最大20分まで(ステレオ4チャンネルで40分)。早送時間20分テープで約1分40秒、ワウは0.3%以下となっている。



#### ○サーボマチック L (TC-222L)

これは先に発売したサーボモーター使用のポータブル機“サーボマチック F”をベースとして、それを2トラック・2

チャンネル方式にした本格的語学練習機である。NORMAL と LL の切替スイッチによって、前者では普通のテープレコーダーの機能をもち、後者にすると4チャンネル2の入力とチャンネル1の再生出力が下トラックに録音することができ、またトラック1と2を同時に再生することができる。録音はAGC方式なので録音中にレベル調整をする必要はない。ワンタッチ・ストップ機構もついている。またマイクのスイッチをON-OFF させてテープをスタート・ストップすることができる。AC、DC 両用で、DC の場合は6V (UM-1×4 またはBP-8)。テープ速度は9.5cm/s と4.8cm/s、使用リールは最大5号である。大きさは幅295×高さ118×奥行302mm、重量約4kg。現金正価は¥29,800。



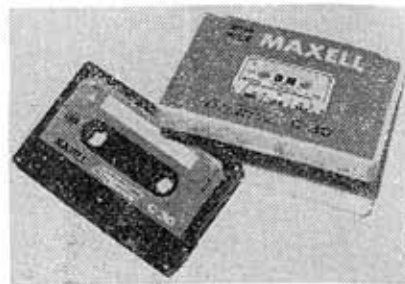
(東京都品川区北品川6-7-35 Tel: 442-5111)

ソニー K. K.

### 日立マクセルのカセット C-30

カセット・テープの普及をはかり、新たな需要を喚起するために小売正価330円のカセット C-30 を発売することとなった。これは30分の録音をするもので、テープもカセット・ケースも同社が新たに開発した製品を使用しており、ポリプロピレン製の吹米タイプのケースに収納されている。従来の製品の録音時間および値段は次のとおりである(C型は普及品で紙ケース入り 他はプラスチック・ケース入り)。

C-90	90分	¥1000
C-90 (c)	90分	¥800
C-60	60分	¥700
C-60 (c)	60分	¥500
C-30	30分	¥330

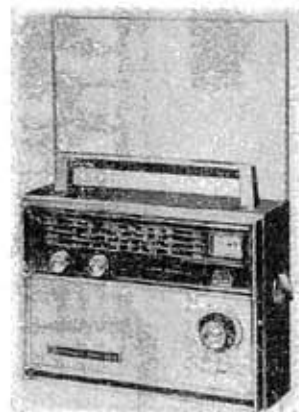


(東京都品川区北品川4-8 Tel: 442-7271)

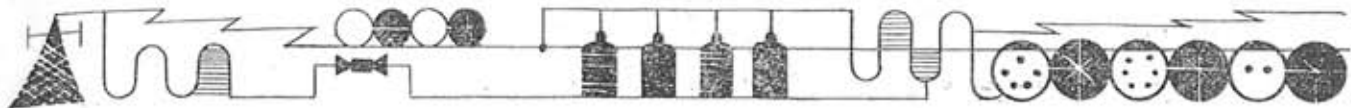
日立マクセル K. K.

### ナショナルの多バンド・ポータブル・ラジオ (R-1400)

船員や短波ファンのために、中波(535~1605kc)のほかにも漁船バンド(1.6~4.5Mc)、4.5~12Mc、12~26.1Mcの短波が受信できる11石超高感度ラジオである。各バンドともRF増幅つきで、短波の同調も楽なようにファイน์・チューニングがついている。また受信中のバンドがひと目でわかる前面表示、暗がりでも同調しやすいダイヤル・ライト、同調状態や電池寿命のわかるマジックメーターなどもついている。中波受信と短波受信の一部には21cmの大型分割巻きフェライト・アンテナ、さらに短波には専用のフレーム・アンテナなどを採用している。感度はMW: 30μV/m/50mW, SW: 20μV/m/50mW。出力段には2SB324を採用して1.8Wの高出力を得、スピーカーは12cmを内蔵している。電源は6V (UM-1×4)、外形寸法は幅293×高さ207×奥行95mmで重量は2.75kg。現金正価 ¥21,000。



(大阪府門真市門真町)



松下電器産業 K. K.

### KS のプレーヤー “525SE”

従来の同社のベストセラーである 525 HA をさらに改善したもので、機能面でもデザイン面でも数段とすぐれたものである。モーターには 4 極ヒステリシス・シンクロナス型(低電圧ドライブ方式)を使い、ターンテーブルは 30 cm 径のアルミダイカストとなっている。回転ムラは 0.1% 以下、S/N 45 dB 以上、回転数は 33 $\frac{1}{3}$  と 45 rpm の 2 スピード。トーンアームはスタチック・バランス型の MG-525J, カートリッジは MM 型の STC-333. 針圧は 2.5 gr, 再生周波数範囲は 15~21,000 c/s. 価格はケース付完成品が K-525SE と呼ばれ ¥23,500, ケースなしが R-525SE で ¥18,200.



(名古屋市北区城東町 6-144)

Tel: 912-3245)

K. K. ケイエス商事

### デリカの新製品 3 種

#### ○シンクロスパーク・フラッシャー

高速度時代に適した自動車用の強力な方向指示器で、写真のストロボと同様の原理でクセノン放電管による強力な閃光を発生し、運転者の意志を確実に前後の車に伝えることができる。短時間の閃光なので近距離のドライバーをげん感させることもなく、遠距離では普通のウインカ



ーより明瞭に眼にうつるので、高速道路での追越しや進路変更に弾力を発揮するというもの。定価は ¥22,000 (取付費別), 地方送料は ¥850.

○歪率計/AC 電圧計 DKF-102 型  
高感度、広帯域の mV メーターと歪率計とが組合わされたもので、歪率計としては 100, 400, 1k, 5k, 10k, 20kc において、最小 0.05% から 30% までの歪率が測定できる。ウイーン・ブリッジのフィルターを使用し、最小必要入力電圧は 50 V. 入力インピーダンスは 100 k $\Omega$  である。

電圧計としては、測定範囲 50  $\mu$ V~300 V(rms), フルスケール 1mV~300 V で、dB 目盛つき。入力インピーダンスは 10 M $\Omega$ , 帯域は 10 c/s~1.5 Mc が  $\pm 0.2$  dB, 4 Mc まで  $\pm 1$  dB 以下である。FET やシリコン・トランジスターを使った電池式なのでハム、ノイズが極めて小さく屋外でも使用できる。定価は ¥59,000.



#### ○AC ボルト・メーター 201 型

従来の同社の電圧計に改良を加えたもので、シリコン・トランジスターを採用したため、安定度も上り、帯域も広がっている。測定範囲は 50  $\mu$ V~300 V(フルスケール 1mV~300 V), dB 目盛つき。帯域は 10 c/s~1.5 Mc  $\pm 0.2$  dB, 入



力インピーダンスは 1 V~300 V で 10 M $\Omega$  15 pF, 1mV~300 mV で 1 M $\Omega$  30 pF である。やはり電池式なのでどこでも使え、周囲の影響も受けずに極めて安定に動作する。定価は ¥28,000

(東京都港区南麻布 1-2-1 Tel: 451-2533)

K. K. 三田無線研究所

### エロイカの新製品 2 種

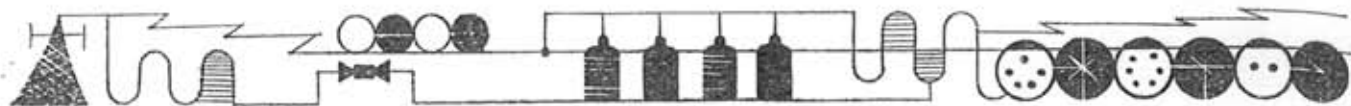
#### ○ステレオ・パワーアンプ ET-2000

オール・シリコン・トランジスター (Tr 20 個, ダイオード, バリスター, サーマスター 20 個) のパワーアンプで、最大出力 90 W (4  $\Omega$ ), 実効出力 28+28 W (8  $\Omega$  負荷, 歪率 1% 以内) を得ていて、パワーアンプとして、またマルチチャンネル用アンプとしてどのような周波数帯域にも使うことができる。またミュート回路や、パワー・インジケーターもついている。周波数特性は 7 c/s~100 kc (+0~-3 dB 以内)。パワーバンド幅 20 c/s~85 kc, S/N 85 dB, ダンピング・ファクター 38/8 $\Omega$ , 76/6 $\Omega$ . 入力感度 0.65 V(28W). 外形寸法は幅 215 $\times$ 高さ 155 $\times$ 奥行 325(mm). 重量 2kg. 木製ケースに収められている。現金正価は ¥48,800.



#### ○OAM/FM ステレオ・アンプ ET-3000

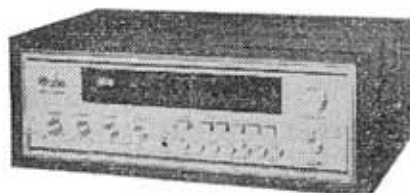
トランジスター 56 個, ダイオード 36 個を使ったマルチステレオ・コントロール・パワーアンプである。FM フロントエンドにはシリコン Tr を RF 増幅, Mix, Osc に使用し、その上完全シールドを施した 3 連バリコンの採用と相まって実用感度 1.8  $\mu$ V (IHF, Mod 30%, S/N 30 dB) を得ている。IF 段は 5 段増幅(フォア・リミッター), スケルチ, ミュート回路つき, FM-MPX 回路は新開発の同期発振型で、安定度, 音質,



セパレーション (40 dB/1 kc) に大きな効果をもたらしている、AF 段での位相反転回路にはベア-のシリコン Tr を使って、周波数特性 7 c/s~85 kc (+0~-36 B, S/N 75 dB, 歪率 0.5%) を得ている。なお本機は高級マニアのために、コントロール・アンプとパワー・アンプが別々に使用できるように設計されているので、チャンネル・デバイダーなどの使用も容易となっている。

最大出力は 80 W, 実効出力 30+30 W (8 Ω 負荷, 歪率 1% 以内), クロストーク 63 dB 以上 (AUX 入力 1 V/1000 c/s), 歪率 30 W 時に 1% 以内, 10 W 時に 0.5% 以内, 1 W 時には 0.3~0.25% 以内となっている。ダンピング・ファクターは 38 (8 Ω), 76 (16 Ω), ダイナミック・レンジ 55 dB (AUX 入力 1 V), S/N 75 dB (AUX 音量最大, トーンコントロール・フラット)。外形寸法は幅 445 ×

高さ 142 × 奥行 310 mm, 重量 11.5 kg.



(神戸市灘合区旭通 4 丁目 橋ビル内)  
Tel: 078-22-0327  
神戸電子機器 K. K.

### コロムビアの 3 点セパレーツ・アンプ CMS-300

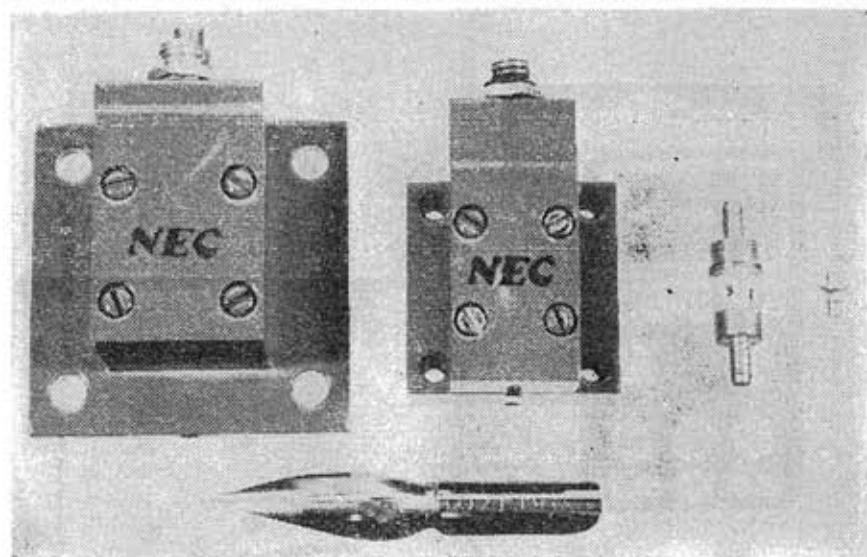
小型ながら大型セパレーツ・システムなみの音を...という目標で製品化されたもので、出力回路は ITL コンプリメンタリー SEPP-OTL 方式をとっている。FM チューナー部には FET を使用してイメージ・レシオ, クロス・モジュレーションの特性をよくしている。また本機

では特に、外部スピーカー端子をつけて手持ちのスピー・カーシステムにもつなげるようになっている。

出力: ミュージック・パワー 13 W × 2, 実効最大出力 8 W × 2。プレーヤーは 2 極定速モーターによる 2 スピード・オートプレーヤー, ターンテーブルは 25 cm 径, カートリッジはセラミック型, スピーカーは 16 cm 2 個が密閉箱の中に入っている (インピーダンスは 8 Ω)。

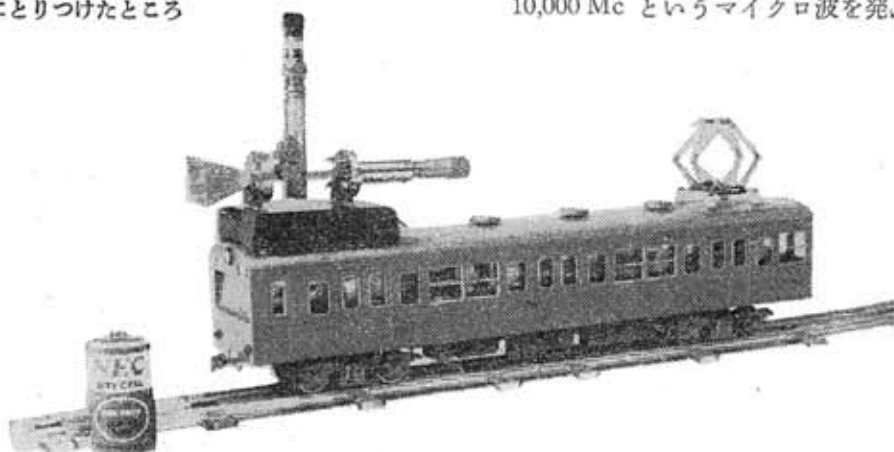


現金正価は ¥ 33,800。  
(東京都港区赤坂 4 丁目 14-14)  
Tel: 584-8111  
日本コロムビア K. K.



右がガン・ダイオードで左は共振器にとりつけたところ

✓ 振・受信・増幅できるというものを作り出すことに成功した。これはマイクロウエーブ界にとって画期的なことで、これにより巨大な装置は一きよに小型化され、ポータブル・レーダーなども夢でなくなった。下の写真は電車 (モケイ) にマイクロ波による衝突防止装置をつけたところである。



### NEC が開発した第 3 の半導体 ガリウム砒素 (ガン・ダイオード)

ガリウム砒素といえば、従来きわめて扱いにくい物質とされていたが、1963 年、アメリカ IBM のガン氏がこの結晶体にある電圧をかけると結晶中に 1,000 Mc に達する電気振動が起きることを発見した。これを NEC でも注目して鋭意研究の結果、長さわずかに 0.2 mm のガリウム砒素半導体 (写真の右にある 2 つ) ひとつで、わずか 3 V の電源で 10,000 Mc というマイクロ波を発し